

平成28年度第1回

かほく市総合教育会議
議 事 録

平成28年12月15日

議 事 録

平成28年度第1回かほく市総合教育会議議事録	
招集年月日	平成28年12月15日(木)
招集の場所	かほく市役所 301会議室
開 会	平成28年12月15日(木) 午後2時37分宣告
出 席 者	市 長 油 野 和 一 郎
	教育長 山 越 充
	教育長職務代理者 山 本 滝 男
	教育委員 松 井 三 枝 子
	教育委員 長 柄 悦 子
	教育委員 南 文 夫
事 務 局	教育部長 虎 谷 寛
	学校教育課長 井 上 勝 文
	生涯学習課長 折 戸 靖 幸
	学校教育課 課長補佐 北 川 直 紀
	学校教育課 主事 林 恭 平
協議・調整事項	1) 学校施設(七塚小学校・外日角小学校)の長寿命化改修について
意 見 交 換	1) 学童保育クラブの現状について 2) 通学路の安全点検(路側帯のグリーンゾーン含む)について 3) その他

開 会

【虎谷教育部長】

開会前に七塚小学校、外日角小学校を視察した。
平成 28 年度かほく市総合教育会議を開催します。

市長あいさつ

【油野市長】

昨年の総合教育会議では、「市の教育大綱」を「市教育振興基本計画」をもって充てることとした。また、「かほく市立小中学校の配置」を「当面は現在の小学校 6 校、中学校 3 校体制を維持していく」ことを確認した。

七塚小学校、外日角小学校の長寿命化改修については、関係者の皆さんのご意見を伺いながら、平成 31 年度までに両校の工事に着手したい。

子どもたちの教育は、市にとって大きな施策のうちの一つとして捉えており、教育環境の整備についてもしっかりと進めて行きたい。

教育委員の皆さんにもご理解とご協力をお願いする。

今後とも互いに連携して行きたい。

【虎谷教育部長】

市総合教育会議運営要綱第 3 条の規定に基づき会議の議長は教育長とする。

議事進行は山越教育長でお願いします。

同要綱第 4 条第 3 項の規定に基づき議事録の署名を市長と教育委員 1 名となっていることから教育委員 1 名を選出願う。

議事録署名委員の指名

【山越議長（教育長）】

運営要綱の規定により会議の進行をします。この会議の議事録の署名は油野市長、山本教育長職務代理者をお願いします。

協議・調整事項

学校施設（七塚小学校・外日角小学校）の長寿命化改修について

【山越議長】

学校施設（七塚小学校・外日角小学校）の長寿命化改修について、事務局の方から説明願う。

【虎谷教育部長】

（七塚小学校・外日角小学校の概要）

七塚小学校は昭和 42 年に建設され、その後増築、体育館は昭和 48 年に建設された。

外日角小学校は昭和42年に建設され、その後増築、体育館は昭和53年に建設された。

両校と同時期に建設された学校が全国的に多く、施設の更新が集中していることから、全国的にも深刻な課題となっている。このようなことからこれまでは校舎を取り壊し、新しい学校を建てるという「改築」であったが、国では、長寿命化改修が補助事業として優先採択されている。

このようなことから、七塚小学校、外日角小学校とも長寿命化改修を予定している。

(今年度実施した耐力度・劣化状況調査の結果について)

- ・資料により説明
- ・両校舎とも平成20年度までに耐震補強工事が完了している。
- ・両校舎とも躯体の耐力度については、高い値となっている。
- ・外壁については、両校舎とも外壁の劣化が進んでいる。特に、外日角小学校の外壁の劣化が進んでいる。
- ・内装については、両校舎ともに雨漏り箇所があり、七塚小学校では一部改修済であるが、外日角小学校では廊下壁面に数多くの雨漏り箇所がある。また、両校舎ともサッシについては一部開閉できない箇所がある。
- ・機械設備については、両校舎とも更新時期を迎えている。
- ・屋上防水については、両校舎ともひび割れなどにより漏水箇所がある。
- ・トイレについては、七塚小学校は改修しているが外日角小学校は未改修のため、夏場に臭う。
- ・以上のことから、優先的に外日角小学校の長寿命化改修を進めたい。

(両校の改修スケジュールについて)

- ・この9月末に両校の耐力度・劣化状況調査を終了した。
- ・外日角小学校の長寿命化改修に向けた基本設計費を12月議会に予算計上した。
- ・関係者のご意見を伺いながら、来年6月末までに基本設計を完了したい。
- ・基本設計終了後、実施設計に着手し国の補助採択があれば平成30年度に外日角小学校の長寿命化改修に着手したい。
- ・七塚小学校については平成29年度に基本設計に着手し、平成31年度までに長寿命化改修に着手したい。

(基本設計方針(案)について)

- ・基本的には5本柱で構成した。

【教育】意欲的に学び、豊かな心と夢をはぐくむ学校づくり
これからの教育環境の機能充実に向けた検討。

【安全】児童や教師が安心して過ごせる学校づくり

学校内の移動における動線の確保、災害時における拠点避難所としての防災備蓄倉庫などの検討。

【地域】地域に開かれ、共に学び、育てる場としての学校づくり
コミュニティ・スクールの活動拠点となるスペース、学童保育クラブの配置を考慮した検討。

【自然】地球環境にやさしく、自然の大切さを学ぶ学校づくり
自然エネルギーの導入等の検討。

【その他】
仮設教室等の仮設計画の検討。
地域の方々のご意見を伺いながら基本設計を進めていく。

(質疑・ご意見)

【山越議長】

質疑、ご意見はありませんか。

【山本教育長職務代理者】

先に改修を予定している、外日角小学校の校舎は歪な形状になっているが、どのような改修となるのか、基本的な考えは。

【油野市長】

限られた予算の中で、使い勝手の良い建物にしたいと考えている。

外日角小学校は、幸いにも広い中庭があることから、全体の敷地の中でいろいろな機能を加えながら進めていければと考えている。

【山越議長】

油野市長からは、必要があれば今の枠組みにとらわれず、場合によっては増築も考える必要があるとのことのお答えだったかと思えます。

【油野市長】

本来なら、校舎を建て替えられれば良いと思うが、国の補助採択を受けて改修を進めようとした場合、長寿命化改修を優先採択するという国の方針であるとの報告も受けている。

【山本教育長職務代理者】

先進地を視察してきたが、形状をそのまま残して改修するには、制約もあると思いますが、何より子どもたちの校舎内の動線が非常に大切だと思いますので、子どもたちが動きやすい環境の学校にしていきたい。

【油野市長】

皆さんの思い、地域の皆さんの思いを組み込んで、場合によっては増築も検討しながら、使い勝手の良い学校にしたい。

【松井教育委員】

縛りがある中での整備は、大変だと思っている。

予定では来年1月から基本設計に着手するとなっているが、ある程度、設計が出来てから、地域の方々への説明となるのか、平行して進めていくのかをお聞きしたい。

【山越議長】

基本設計と住民とのコンセンサスについて、事務局の方から説明願う。

【虎谷教育部長】

基本的には、検討委員会を立ち上げたいと考えている。

開催時期は、設計を委託する業者とも協議をしながら、できれば検討委員会を3、4回開催したいと、現時点では考えている。

【油野市長】

地域の皆さん、教育委員のご意見などを組み入れながら進めていきたい。

12月議会で高松小学校、大海小学校、宇ノ気小学校及び高松中学校のエアコンを整備する予算を計上した。同じように、外日角小学校の基本設計も少しでも早く子どもたちの教育環境を良くしたいとの思いで12月議会に補正予算を計上した。また、七塚小学校についても引き続き行うこととしている。

【松井教育委員】

先進地の視察はとても参考になった。

やはり既存の建物を利用するという事で、制約もあると思うが、せっかく整備するのであるから、新鮮さを感じる学校にしてほしい。

【油野市長】

学校は、地域を代表する建物であり、災害時の拠点避難施設でもある。できるだけ皆さんの意見、要望をお聞きし、市として、どこまで対応できるかを判断して行きたい。

【山越議長】

住民の方々の意見をお聞きすると、もっと斬新なご意見も出てくると思う。

その他、何かありますか。

【南委員】

住民への説明や意見をどのように聞く予定か。

また、建物が残るということで、うれしいと感じる住民もいるのではないか。

せっかく改修するのだから、地域の方も良いものにしてほしいと思っていると思う。

【虎谷教育部長】

住民の方への説明は、それぞれの学校には学校運営協議会が設置されており、PTAの代表、地元の区長さんの代表、子ども会、女性会、主任児童委員など、学校が日頃からお世話になっている方々で組織されている。まず、その方々のご意見を伺い、場合によっては、地元を代表する区長さんや保育園の保護者の皆さんなどのご意見を伺いたいと思っている。いずれにしても、学校運営協議会と相談をしながら進めたいと考えている。

【山本教育長職務代理者】

これから、両校の整備がスタートするが、整備までの間、防火扉、外壁・サッシの落下など、子どもの命に係わるようなところについては、これから整備するからといって直さないのではなく、最低限の安全対策はお願いする。

【虎谷教育部長】

しっかり対応したい。

【山越議長】

意見交換に移ります。

意見交換 学童保育クラブの現状について

【山越議長】

学童保育クラブの現状について、先ほどの現地視察の際、担当課長から説明がありました。補足等がありましたら事務局から説明願う。

【井上学校教育課長】

入所状況について資料により説明

外日角小学校区では3保育クラブ76名でスタートし、現在は60名入所。

七塚小学校区では1保育クラブ46名でスタートし、現在は43名入所。

来年度は七塚小学校区の学童クラブにおいて、入所者数が増えることから1クラブ増を予定している。学校の教室を利用したいと考えている。

延長保育の利用状況は、両学童保育クラブともに入所者の3割程度の子どもたちが利用している。また、夏休みの一時利用についても年々増加している。

【松井委員】

共働きの世帯が増える中、保育園では延長で午後7時まで預かってもらえる。また、小学生も同様、学童保育クラブで預かってもらえるようになった。それは地域にとって大事なことだと感じている。また、大変助かるという意見も聞いている。

市長さんも、子育て支援に力を入れ、安心して子育てできる大事な位置づけだとすれば、そこで働く支援員の確保に課題があるとの新聞報道もあった。今後、益々学童保育

の利用者が増えるとなれば、どのように考えているのか。

【油野市長】

学童保育クラブでは、何人の子どもを預かる場合には、何人の支援員を置かなければならないといった配置基準があり、支援員の確保には大変苦勞していると聞いている。

しかし、皆さんから希望があるものについては、できるだけそれに対応しようという思いでやっている。

【松井委員】

学童保育クラブの支援員のマンパワーがあれば、子どもたちの学校生活に良い方に繋がってくるのではないかと感じている。

【油野市長】

限られた財源の中ですべてのことができるというものではありません。そういった意味では難しい部分もある。以前は、合併して三位一体の改革の中で、人件費をカットしなければならない。職員の数もどんどん減らさなければならないという時期があった。最近では財政的にも良くなってきているが、それをどんどん広げていけるかといえば、どこまでやれるかについては、ぎりぎりのところで協議しながら決定している。できるだけ市民のニーズに応えられるように判断させていただいている。

通学路の安全点検（路側帯のグリーンゾーン含む）について

【山越議長】

通学路の安全点検（路側帯のグリーンゾーン含む）について事務局から説明願う。

【井上学校教育課長】

市の学路交通安全プログラムについて説明。（資料により）

市では、県内で最初にこのプログラムを策定し取り組んでいる。

学校、保護者、道路管理者、警察、自治会などで構成する推進協議会等を設置し、通学路などの危険箇所を点検している。また、それぞれの学校でも安全点検を毎年実施している。

路側帯のグリーンゾーン設置状況等について資料により説明。

【南委員】

長年、子どもたちの登下校の様子を見てきた。

子どもたちは、安全に気をつけて登校しているが、下校時は友だちと寄り道をするといった様子が見受けられる。そのようなことから、子どもたちが道路に飛び出して危ないと感じることがある。

また、道路上にあった電柱も今は民地に入り、道路を通る車の速度も速くなっていると感じる時がある。そうすると、やはり路側帯のグリーンゾーンについて、市道であれ、県道であれ、少しずつでも延伸していただければと思う。

【油野市長】

路側帯のグリーンゾーンは、市の管理する道路については、順次、学校に近いところから設置している。これは県内がかほく市が最初に取り組んだ事業だ。限られた予算の中で、今後も延伸して行く。県道は石川県が管理し、国道は国が管理している。

県道のグリーンゾーン設置については、石川県に要望していこうと話を進めている。

国道については、自歩道整備ということで、現在、木津地区で事業を実施しているが、高松地区についても、事業採択してほしいという要望があり、地元の皆様や地権者の皆様のご協力をいただき、関係機関への要望活動を実施しているところである。

グリーンゾーンの設置については、最初は学校から500m以内の範囲で設置していたが、できるだけ延伸しようと地元の要望や学校の要望を聞きながら実施している。

そ の 他

【山越議長】

その他、何かございましたらお願いします。

【山本教育長職務代理者】

4月28日から新教育委員会制度がスタートし、教育長と教育委員長が一本化された新教育長の制度がかほく市でもスタートした。

また、石川県教育委員会連合会の組織においても、これまでは会務を協議する教育委員長の会議から、教育長が集まる会議に変更され、それとは別に教育委員の代表者会議が新設された。市長は、新しい教育委員会制度についてどのように思っているのか。

【油野市長】

県の組織までわからないが、教育委員会として、かほく市の子どもたちの教育など、様々な事について協議していただき、より良い方向に進めていく。これは、私にとって、これまでと何ら変わるものではありません。制度上、これまでの教育委員長と教育長が一本化された教育長が、教育委員会のトップであることは間違いありませんが、制度としては、変わったかもしれませんが、私にとっての教育委員の存在や役割は、これまでと何ら変わらないと思っている。

この総合教育会議についても、これまで教育委員さんとこのような意見交換する会議もありませんでしたので、この会議により、今までよりも教育委員さんとは近くなったと感じており、大変有難いと思っている。

閉 会

【山越議長】

以上で、平成28年度第1回かほく市総合教育会議を閉会します。
お疲れ様でした。

午後4時23分 閉会

議長（教育長） 山 越 充

署名（市 長） 油 野 和一郎

署名（教育委員） 山 本 滝 男